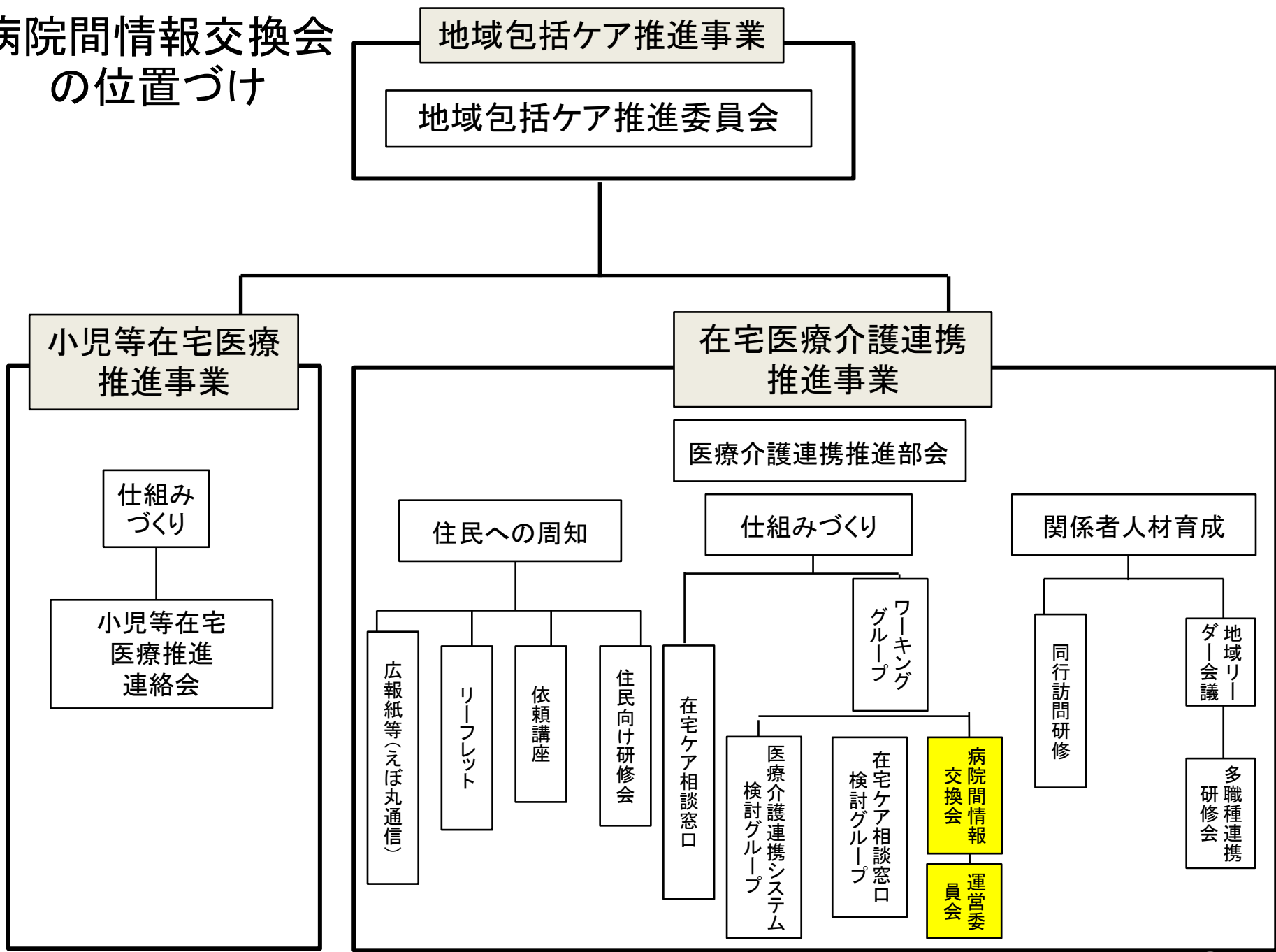


平成30年度  
病院間情報交換会  
上半期・取組み

報告者：星亮太

# 病院間情報交換会 の位置づけ



# 病院間情報交換会

## 平成30年度の課題及び検討事項

- ① 各病院の連携に関すること
- ② 各病院の情報開示に関すること
- ③ 緊急入院ベッドの確保に関すること
- ④ 災害時の対応に関すること

# 病院間情報交換会運営メンバー（敬称略）

所属機関	氏名	職種
茅ヶ崎中央病院	水澤佳代子	社会福祉士
茅ヶ崎新北陵病院	大貫香織	社会福祉士
湘南東部総合病院	岩崎克己	事務職
長岡病院	佐藤茂子	社会福祉士
茅ヶ崎徳洲会病院	由井正樹	社会福祉士
寒川病院	根岸浩子	看護師
湘南さくら病院	麻地洋司	看護師
けやきの森病院	星亮太	事務職
茅ヶ崎市立病院	西村八重子	看護師

# 平成30年度情報交換会開催実績

名称	回数	日程	出席者人数
運営委員会	第1回	4月26日	9人
情報交換会	第1回	9月14日	44人 ケアマネ参加あり
運営委員会	第2回	10月25日	19人 ケアマネ参加あり
情報交換会	第2回	2月19日	

# 第1回病院間情報交換会の様子



# 第1回病院間情報交換会の様子



# 第1回病院間情報交換会の概要

## 病院とケアマネの連携における課題の抽出・共有を行った。(以下、一部発表内容)

### グループ発表

- 各病院で書類の提出先が異なり、困ってしまう。
- 退院調整など、連絡し合う窓口を一つにして欲しい。病棟なのか、連携室なのか。
- 入院情報提供について中心に話し合った。今後お互いに何を求められているのか共有していけると良い。等

### 市・町ケアマネ部会会長

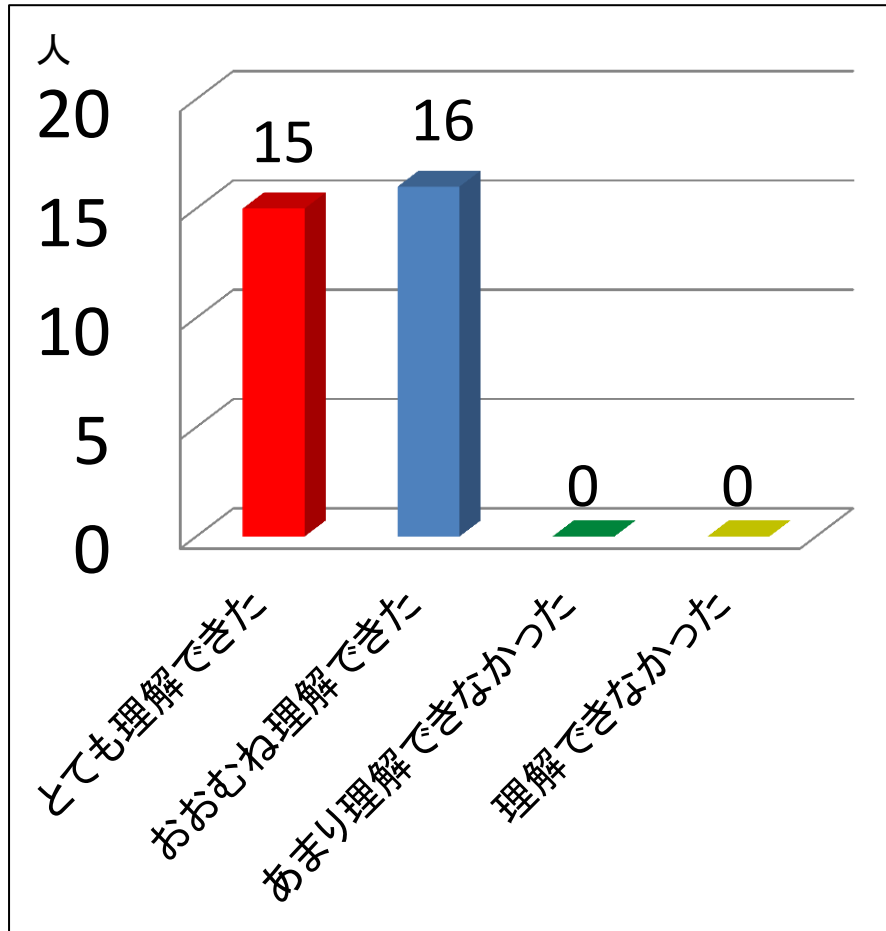
- このような会に参加する自体が課題に挙がっている関係作りの推進にあたりと確信している。今後も課題の抽出も含めて、地域づくりを推進していきたい。
- この会を通して、お互いにとって課題と感ずる点というのは同じようなところだと思った。
- スピーディーに連携のための「入退院支援ルールブック」を作成していきたい。等



# 第1回病院間情報交換会 アンケート結果

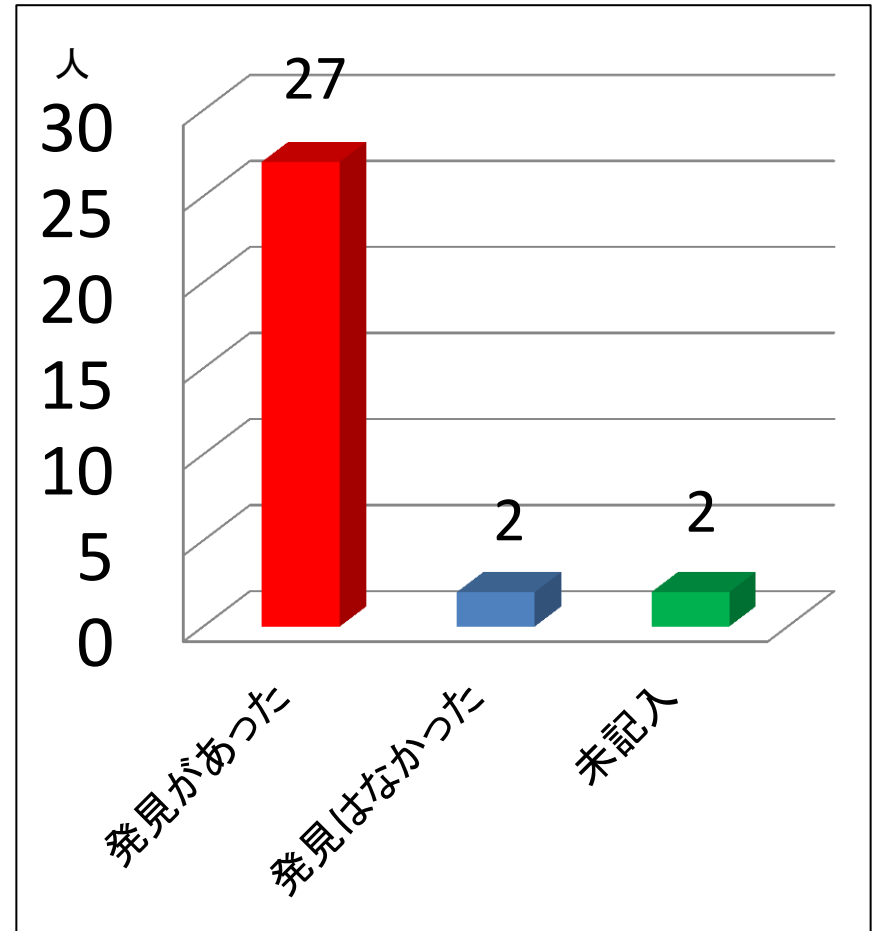
設問1:

本日の病院間情報交換会を通して、ケアマネ側のこと、あるいは 病院側のことについて、お互いの理解が深まりましたか。



設問2:

本日の病院間情報交換会を通して、ケアマネ側のこと、あるいは病院側のことについて、何か新たな発見がありましたか。



# 第1回病院間情報交換会 アンケート結果

## 発見があった方の意見(一部抜粋)

NO	内容	職種
1	在宅で受ける側の困りごとを把握することができた。病院側ももう少し在宅を意識する必要があると思った。	病院関係者
2	ケアマネさんの方が病院へ壁を感じているという意見があり、私達の態度や対応等にも問題があるのかもしれないと感じた。	病院関係者
3	気をつかいすぎて(遠慮しすぎて)声をかけあっていない。そのことでコミュニケーションが不足してしまっているの、遠慮せず一言声をかけていくようにしたいと感じました。	病院関係者
4	病院の相談員の顔ぶれを知ることが出来た。	ケアマネ
5	病院側の現状、ケアマネと病院との連携を深める為に今、何が足りないのか。	ケアマネ
6	病院の側でもDrやNs等の調整をしながら連携の体制づくりに頑張っているのだな~と感じた。	ケアマネ
7	お互いのことが充分に分かっていないところを知ることが出来た。	ケアマネ

# 第2回病院間運営委員会の概要

入退院支援ガイドブックに掲載する項目について検討を行った。(資料5-1参照)

## Aグループ

- 病院の窓口の明確化。
- 担当ケアマネとしてのアピール。
- 個人情報取り扱い。等

## Bグループ

- 病院毎の役割や機能の理解。
- 診療報酬の仕組みの理解。
- 日頃のコミュニケーション。等

## Cグループ

- 入院時情報提供書の活用・運用。
- 退院時情報提供書の活用・運用。
- 介護保険の周知不足。等

# 病院間情報交換会の 今後の予定

- ①入退院支援ガイドブックを今年度中に完成させる～できるだけ早期に地域の専門職へ配布する～
- ②災害時の対応の取組について、情報を共有していく。
  - 上半期1ヶ所の病院が避難訓練を実施し、他1カ所は今後する予定である。